

可燃ごみ減量講座

ワンアール プラス スリーアール

第4部 ～ 1R+3R 編 ～

可燃ごみを減らす方法は他にはないの？

これまで、可燃ごみを減らすために、分別・リサイクルについてお知らせしてきましたが、ごみを減らすための取組みとして、

リデュース
Reduce
(発生抑制)

リユース
Reuse
(再使用)

リサイクル
Recycle
(再資源化)

の3つのRを総称した「**3R**」があります。

また、袋井市では、この「**3R**」の前段階として、ごみになる可能性のあるものを買わない、もらわない考え方である

リフュース
Refuse
(断る)

ワンアール プラス スリーアール

を加えた「**1R+3R**」を推進しています。



©袋井市

どうやって取り組めばいいの？



ハイムーン工房のホームページより

「1R+3R」には順番があります。

- ① まずは、ごみになるものを
買わない・もらわない
(Refuse)
- ② 次に、ごみになるものを減
らす (Reduce)
- ③ そして、使えるものは繰り
返し使う (Reuse)
- ④ それでもごみになってしま
ったら、分別して再資源化
する (Recycle)

ことを心がけましょう。



どんなことに気を付ければいいのか？

1 R + 3 Rの取組みがどのくらい実践できているかチェックし、実践できていない取組みがあれば、これを機に始めてみましょう。

1R

Refuse (リフューズ)

- レジ袋は断り、マイバッグで買い物をしている。
- 過剰な包装は断っている。
- 割り箸、ストローなどはもらわないようにしている。
- 水筒を持ち歩き、ペットボトルの使用を減らしている。

+

Reduce (リデュース)

- 生ごみの水分は、よく切ってから捨てている。
- 食べ残しが少ないよう、適量の調理を心がけている。
- 食材などは、計画的に購入し、賞味期限内に使い切っている。

3R

Reuse (リユース)

- リサイクルショップやフリーマーケットを利用している。
- シャンプーや洗剤などは、詰め替え可能な商品を優先している。
- 故障したものは、修理して長く使っている。
- 不要になったものも再利用している（歯ブラシを掃除に使うなど）

Recycle (リサイクル)

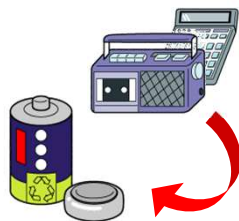
- 適切に資源ごみの分別を行っている。
- リサイクルされた商品を積極的に使用するようにしている。
- お菓子の箱などの雑紙は分別して回収場所等に出している。
- 生ごみ処理容器等を活用し、生ごみをたい肥化している。



フッピーからのお願い

資源ごみを出すときには、以下のことに注意してください。

小型電化製品に入っている電池は外して出してください。



ニカド電池・ニッケル水素電池・リチウムイオン電池（小型充電式電池）は電器店や家電量販店などで回収しています。



ガス缶・スプレー缶は、使い切って穴を開け、ガス抜きしてください。

※ガス抜きは必ず屋外など風通しの良い場所で行ってください。



いずれも収集車や施設での**火災原因**となっています。

御協力をお願いします。

